

## 令和5年度 八代高等学校シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年	3	類型	文系
単位数	3	教科書	新 探求現代文B（桐原書店）				
副教材			新訂総合国語便覧（第一学習社）、核心漢字2500+語彙1000（尚文出版）、大学入試国語頻出問題1200（いいづな書店）、アップリフト現代文、現代文グレーティング'40（尚文出版）、共通テスト対策問題集				

学習目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、様々な種類の文章に触れ、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学期	○高階秀爾「オブジェとイメージ」 ○評論解析B 3「博物館というメディア」 ○梶井基次郎「檸檬」 ○【表現】小論文を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オブジェ・イメージと人間との関わり、さらに芸術の成立との関係について把握する。</li> <li>・文章中の対比の構造を理解する。</li> <li>・対比構造を理解し、何を説明するために何を比べているのかを分析する。</li> <li>・不条理な設定から寓意を読み取る。</li> <li>・巧みな仕掛けを様々な観点から分析する。</li> <li>・小論文とは何かを知る。</li> <li>・小論文の構成を理解する。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学期	○今村仁司「市民社会化する家族」 ○麦わら帽子のへこみ ○東浩紀「ポストモダンと排除社会」 ○森鷗外「舞姫」 ○大学入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資本主義の家族領域への侵犯について考察する。</li> <li>・家族と市民社会、国家の関係を分析する。</li> <li>・歌人とアマチュアの違いについて考え、短歌に親しむ。</li> <li>・「ポストモダン社会」の「厄介な二面性」とは何か理解する。</li> <li>・「ポストモダン社会」における自らの考え方や生き方を考える。</li> <li>・登場人物の行動と心理の変化を理解する。</li> <li>・作品の背景にある時代と文化の状況について理解を深める。</li> <li>・評論及び小説の問題に触れる中で思索を深めつつ、速読力と読解力を身につける。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学期	○大学入試問題演習	・さまざまな文章に触れる中で、総合的な国語力を身につける。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

学習方法	評論においては、解析マスターを基本として、筆者の意見とその根拠になる部分を探し、標識語・重要箇所に印や線を付けておく。小説では、心情の読み取り及びその要因を見つける練習を反復する。話し合いを含めた言語活動も行う。週に1時間は演習の時間を設け、実践的な力をつける。
------	---

評価方法	考查による評価8割、平常の学習活動による評価2割で総合的に評価し、最終的に100点法の評点とともに5段階で評価を行う。
------	---

## 令和5年度 八代高等学校シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年	3	類型	理系
単位数	2	教科書	新探求現代文B（桐原書店）				
副教材			新訂総合国語便覧（第一学習社）、核心漢字2500+語彙1000（尚文出版）、大学入試国語頻出問題1200（いいづな書店）、現代文ゲートラング'40（尚文出版）、共通テスト対策問題集				

学習目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、様々な種類の文章に触れ、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学期	○高階秀爾「オブジェとイメージ」 ○評論解析B 3「博物館というメディア」 ○梶井基次郎「檜様」 ○【表現】小論文を書く	・オブジェ・イメージと人間との関わり、さらに芸術の成立との関係について把握する。 ・文章中の対比の構造を理解する。 ・対比構造を理解し、何を説明するために何を比べているのかを分析する。 ・不条理な設定から寓意を読み取る。 ・巧みな仕掛けを様々な観点から分析する。 ・小論文とは何かを知る。 ・小論文の構成を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学期	○今村仁司「市民社会化する家族」 ○麦わら帽子のへこみ ○東浩紀「ポストモダンと排除社会」 ○森鷗外「舞姫」 ○大学入試問題演習	・資本主義の家族領域への侵犯について考察する。 ・家族と市民社会、国家の関係を分析する。 ・歌人とアマチュアの違いについて考え、短歌に親しむ。 ・「ポストモダン社会」の「厄介な二面性」とは何か理解する。 ・「ポストモダン社会」における自らの考え方や生き方を考える。 ・登場人物の行動と心理の変化を理解する。 ・作品の背景にある時代と文化の状況について理解を深める。 ・評論及び小説の問題に触れる中で思索を深めつつ、速読力と読解力を身につける。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学期	○大学入試問題演習	・さまざまな文章に触れる中で、総合的な国語力を身につける。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

学習方法	評論においては、解析マスターを基本として、筆者の意見とその根拠になる部分を探し、重要な箇所に印や線を付けておく。小説では、心情の読み取り及びその要因を見つけ出す練習を反復する。話し合いを含めた言語活動も行う。
------	--

評価方法	考查による評価8割、平常の学習活動による評価2割で総合的に評価し、最終的に100点法の評点とともに5段階で評価を行う。
------	---

令和5年度 八代高等学校シラバス

教科	国語	科目	古典B	学年	3	類型	文理	
単位数	3	教科書	新探求 古典 B (桐原書店)					
副教材			新訂総合国語便覧(第一学習社)、体系古典文法(教研出版)、精選漢文(尚文出版)、古文単語330(いいづな書店) 大学入試国語頻出問題1200(いいづな書店)、実践記述力強化演習(尚文出版)※文系のみ、力をつける古典3(教研出版)、共通テスト対策問題集					
学習目標			古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。					
学期	学習内容		学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)			到達度自己評価 A B C		
1 学期	○俊成讎「和歌の効用」 ○無名抄「俊成自贊歌のこと」 ○逸話「孔明臥龍」 ○源氏物語玉の小櫛 ○廉頗と蔺相如「刎頸の交はり」		・歌論書を読み、当時の和歌の重要性を理解する。 ・俊成や俊恵の歌論を読み取り、それぞれの和歌を鑑賞する。 ・漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話のおもしろさを味わう。 ・実際に読む「源氏物語」の注釈書を読むことで、文学作品に対しての理解を深め、興味関心を高める。 ・話の内容を的確に読み取り、登場人物の心情を考えるとともに、「刎頸の交わり」という言葉を理解する。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学期	○源氏物語「藤壺の里下がり」 ○枕草子「大納言参りたまひて」「二月つごもりごろに」 ○蜻蛉日記「嘆きつつひとり寝る夜」 ○韓非子「侵官之害」 ○漁父辞・岳陽樓記 ○大学入試問題演習		・登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに「源氏物語」の理解を深め、興味関心を高める。 ・筆者の美意識やものの見方を読み取るとともに、当時の宮廷生活について理解する。  ・作者の生活や心情を読み取るとともに、当時の社会制度や平安女流日記文学の特徴を理解する。  ・話の展開を読み取るとともに、韓非子の思想を読み取る。 ・話の展開を読み取るとともに、登場人物などの相違点や合致する点を読み取る。  ・古典の様々な問題に触れる中で思索を深めつつ、速読力と読解力を身につける。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学期	○大学入試問題演習		・さまざまな文章に触れる中で、総合的な国語力を身につける。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学習方法			音読を基本として、古文漢文に読み慣れる。重要事項(語彙・文法等)を踏まえながら、現代語訳を作成する。授業のまとめとして脚問と学習の手引きに取り組む。また、ペアやグループでの活動を通して他者と意見を共有しながら、自分自身の思索を深める。					
評価方法			考查による評価8割、平常の学習活動による評価2割で総合的に評価し、最終的に100点法の評点とともに5段階で評価を行う。					

## 令和4年度 八代高等学校シラバス

教科	地理歴史	科目	世界史B	学年	3	類型	文・理
単位数	4	教科書	詳説 世界史B				
副教材	『アカデミア世界史』『時代と流れで覚える！世界史B用語』 『共通テスト実力トレーニング世界史』						

学習目標	<p>1. 世界の歴史への興味・関心を高め、主体的に探究していく態度を養う。</p> <p>2. 世界の歴史の大きな枠組みと流れを、日本の歴史とも関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培う。</p> <p>3. 國際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p> <p>4. 現代社会が直面する諸課題について、主体的な追究を通して認識を深めさせる。</p>
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学期	<p>第1章 オリエントと地中海世界</p> <p>第2章 アジア・アメルカの古典文明</p> <p>第3章 内陸アジア・東アジア世界の形成</p> <p>第4章 イスラーム世界の形成発展</p> <p>第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代オリエント・ギリシア・ローマ世界</li> <li>・南、東南アジア・中国・南北アメルカの諸文明</li> <li>・北方民族の活動、草原の遊牧民、オアシスの定住民</li> <li>・東アジア文化圏の形成</li> <li>・イスラーム世界の形成と発展</li> <li>・西・東ヨーロッパ世界の成立</li> </ul>	
2 学期	<p>第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展</p> <p>第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開</p> <p>第7章 アジア諸地域の繁栄</p> <p>総合演習</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西ヨーロッパ中世世界の変容</li> <li>・中世文化</li> <li>・トルコ化とイスラーム化の進展</li> <li>・東アジア諸地域の自立化</li> <li>・モンゴルの大帝国</li> <li>・東アジア世界の動向</li> <li>・清代の中国と隣接諸地域</li> <li>・トルコ・イラン世界の展開</li> <li>・ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展</li> <li>・教科書第8章以降の内容を含め、総合演習で習得した学習内容の復習を図る。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学期	総合演習	総合演習	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

学習方法	歴史事象を丸暗記するのではなく、因果関係を考察し論理的に考察すること。日頃からニュース等を通じて歴史的事象に対する理解を深め、歴史的見方考え方を育成すること。
------	---

評価方法	考查評価8割、平常評価2割で総合的に評価し、最終的に100点法の評点とともに5段階で評価を行う。
------	--

## 令和5年度 八代高等学校シラバス

教科	地理歴史科	科目	日本史B	学年	3	類型	文・理
単位数	4	教科書	詳説日本史B(山川出版社)				
副教材		新詳日本史(浜島書店) 新日本史研究ノート・標準編(啓隆社)					

学習目標	(1)わが国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、わが国の文化と伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる「日本人」としての資質を養う。 (2)歴史を考察する基本的な方法を理解するとともに、主題を設定して追求する学習、地域社会にかかわる学習を通して、歴史への関心を高め、歴史的な見方や考え方を身につける。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学 期	第1章 日本文化のあけぼの	・旧石器・縄文の生活 ・農耕社会の成立と「くに」の成立 ・古墳文化とヤマト政権 ・推古朝の政治と仏教文化 ・大化の革新と律令国家への道 ・奈良時代の政治と鎮護国家思想 ・平安遷都と律令国家の変質 ・藤原北家の繁栄と国風文化 ・地方の乱れと武士の登場 ・院政と平氏政権 ・鎌倉幕府の成立 ・執権政治と武士の社会 ・元寇と得宗専制政治 ・鎌倉文化と新仏教の展開	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第2章 律令国家の形成		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第3章 貴族政治と国風文化		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第4章 中世社会の成立		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学 期	第5章 武家社会の成長	・南北朝の動乱と室町幕府の成立 ・戦乱の世と庶民の台頭 ・室町文化 ・統一への道	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第6章 幕藩体制の確立	・幕藩体制の成立 ・幕政の安定と経済の発展 ・元禄文化と儒学の興隆	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第7章 幕藩体制の展開	・幕政の改革 ・内憂外患と幕府の衰退	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第8章 幕藩体制の動搖	・化政文化と庶民	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学 期	共通テスト対策演習	・マーク問題演習	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	私大対策演習	・記述問題演習	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	超難関大対策演習	・論述問題演習	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

学習方法	歴史事象を丸暗記するのではなく、因果関係を考察し論理的に考察すること。
------	-------------------------------------

評価方法	定期考查評価7~8割、平常評価(課題提出等)3~2割で総合的に評価し、最終的に100点法の評点とともに5段階で評価を行う。
------	---

令和5年度 八代高等学校シラバス

教科	地理歴史	科目	地理B	学年	3	類型	文・理
単位数	4	教科書	新詳地理B(帝国書院)	新詳高等地図(帝国書院)			
副教材	新編フォトグラフィア(とうほう)、 ウィニングコンパス地理の整理と演習(とうほう)						

学習目標	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	難度自己評価 A B C
1 学期	第Ⅰ編 地図と地理的技能 第1章 地理情報と地図 第2章 地図と地域調査 第Ⅱ編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 第2章 資源と産業	・地理情報と生活 図法の異なる世界地図の利用 ・GISを活用した地理情報の加工と利用 ・地図の選択と利用 地域調査の手法と地図の読図 ・大地形、小地形の基礎的知識 自然災害との関係 ・地球規模の気象現象の特色と形成要因 異常気象 ・世界の気候区分、植生、土壤 自然環境の諸問題 ・世界の農業、林業、水産業 世界や日本の食料問題 ・資源、エネルギーの特色と分布 エネルギー問題 ・世界の工業の立地条件と工業地域の変容 ・世界の交通・通信、貿易、商業、観光の動向	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学期	第3章 人口と村落・都市 第4章 生活文化と民族 第Ⅲ編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 第3章 現代世界と日本	・人口の分布、増加、構成の形成要因と人口問題 ・村落の立地と形態、都市の発達と変容と都市問題 ・世界の衣食住の特色 言語・宗教の社会との関連 ・民族と国家の多様性 国家群と国連 領土問題 ・国家規模の地域を多面的に捉え、地域の課題を考察 ・地域や国家を比較し地域の特色や課題を考察 ・東アジア、東南アジア、南アジア、西アジアと中央アジア、アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、英語圏アメリカ、ラテンアメリカ、オセアニア ・自然、産業構造、人口、居住問題、他国との関わり	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学期	共通テスト対策 個別試験対策	マーク演習 論述問題演習	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

学習方法	日頃からニュース等を通じて地理的事象に対する理解を深める努力をしておくこと。
------	--

評価方法	考查評価7~8割、平常評価3~2割で総合的に評価し、最終的に100点法の評点とともに5段階で評価を行う。
------	--

令和5年度（2023年度） 八代高等学校シラバス

教科	公民	科目	倫理	学年	3	類型	文系
単位数	4	教科書	「高等学校 改訂版 倫理 ETHICS」(第一学習社)				
副教材	「テオーリア 最新 倫理資料集 新版四訂」(第一学習社)						

学習目標	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と施策を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学 期	第1章 青年期の課題と自己形成	青年期の意義と課題、青年期の人間関係、青年期の自己形成	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第2章 人間としての自覚	古代ギリシアの思想	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第3章 国際社会に生きる日本人としての自覚	ユダヤ教・キリスト教、イスラーム、仏教、中国思想 日本の風土と伝統、外来思想の受容（仏教・儒学）、庶民思想（義理人情・国学など）、西洋思想との出会い	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学 期	第4章 現代に生きる人間の倫理	ルネサンスと宗教改革の影響、経験論と合理論、社会契約説、カントやヘーゲルの思想、功利主義、プラグマティズム、社会主義、実存主義、現代の思想	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第5章 現代の諸課題と倫理	生命倫理、環境倫理、家族・地域社会の倫理課題、情報倫理、宗教・文化の倫理課題、国際平和と人類の福祉	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	問題集を活用した学習の復習	マーク演習	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	大学入学共通テスト対策演習と解説	論述記述問題	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学 期	大学入学共通テスト対策総合問題演習	マーク演習	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		論述記述問題	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

学習方法	①学習に取り組む姿勢として、常に「自分だったらどのように考え、行動するか」を意識する。 ②教科書・資料集を読み、その思想の背景やその後の影響などを関連付けながら理解を深める。 ③教科書・資料集の重要語句はしっかりと覚え、説明できるようにする。
------	---

評価方法	①学期成績は、中間・期末考査及び実力考査等の成績をもとに（8割）、授業中の取組や課題の提出状況に応じて（2割）評価する。 ②学年成績は1～3学期までの評点を平均し、5段階で評価する。
------	--

令和5年度 八代高等学校シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ+B	学年	3	類型	文系
単位数	(高進)3+2 (中進)2+3	教科書	「数学Ⅱ・数学B」(啓林館)				
副教材	「リンク数学演習ⅠA+ⅡB」教研出版 「アップリフト数学ⅠAⅡB」Z会 「共通テスト対策問題集プレノート数学ⅠAⅡB」教研出版、プリント教材						

学習目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。また、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	達成度自己評価 A B C
1 学期	「リンク数学演習ⅠA+ⅡB」の演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公式の知識や、基本的な問題に対しての理解がある。</li> <li>・正確な計算処理を行うことができる。</li> <li>・様々な問題に積極的に取り組む意欲がある。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学期	「記述力を養成するテキスト」の演習 数学ⅠAⅡBのマーク演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準的な問題に対して、公式等を活用し、解法を考え出すことができる。</li> <li>・発展的な問題に対して、類題をもとに解法を考え出すことができる。</li> <li>・様々な問題に積極的に取り組む意欲がある。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学期	数学ⅠAⅡBのマーク演習 2次対策問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験時間内に、速く正確な読解及び判断、計算等ができる。</li> <li>・分野横断的な視点から問題を捉え、解答することができる。</li> <li>・様々な問題に積極的に取り組む意欲がある。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

学習方法	予習を前提とした授業を行う。予習では教科書や参考書等の例や例題をもとに、練習問題に取り組む。発展的な内容の問題にも対応できるよう、一問一問解答をすぐに見ることなくじっくり考え、思考力を鍛えるために取り組む。
------	---

評価方法	考查評価8割、平常評価2割で総合的に評価し、最終的に100点法の評点、および5段階で評価する。平常評価は課題提出、小テスト、授業への取り組み等で行う。
------	---

## 令和5年度 八代高等学校シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅲ	学年	3	類型	高進理系
単位数	7	教科書	「数学Ⅲ」(啓林館)				
副教材	「リンク数学演習ⅠA+ⅡB」教研出版 「アップリフト数学ⅠAⅡB」Z会 「アップリフト数学Ⅲ」Z会 「共通テスト対策問題集プレノート数学ⅠAⅡB」教研出版、プリント教材						

学習目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。また、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	難度自己評価 A B C
1 学 期	第1章 複素数平面	・基本的な複素数平面の性質がわかり、平面図形の考察に応用できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第4章 関数とその極限	・分数関数や無理関数、逆関数、合成関数を学び、関数の極限の見方・考え方、連続性を調べることへの応用等を学ぶ。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第5章 微分法	・様々な関数の微分法を習得し、接線の方程式を求めたり、増減を調べてグラフを描いたりすることに応用できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第6章 積分法	・様々な関数の積分計算ができ、様々な図形の面積や体積を求めることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学 期	数学ⅠAⅡBⅢの演習	標準的、発展的な問題に対して、類題等を活用し、解法を考え出すことができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	数学ⅠAⅡBのマーク演習	多角的に問題を捉え、解答を行うことができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学 期	数学ⅠAⅡBのマーク演習	・試験時間内に、速く正確な読解及び判断、計算等ができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2次対策問題演習	・分野横断的な視点から問題を捉え、解答することができる。 ・様々な問題に積極的に取り組む意欲がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

学習方法	予習を前提とした授業を行う。予習では教科書や参考書等の例や例題をもとに、練習問題に取り組む。発展的な内容の問題にも対応できるよう、一問一問解答をすぐに見ることなくじっくり考え、思考力を鍛えるために取り組む。
------	---

評価方法	考查評価8割、平常評価2割で総合的に評価し、最終的に100点法の評点、および5段階で評価する。平常評価は課題提出、小テスト、授業への取り組み等で行う。
------	---

令和5年度 八代高等学校シラバス

教 科	数学	科 目	数学Ⅲ	学 年	3	類 型	中進理系
単位数	7	教科書	「数学Ⅲ」(啓林館)				
副教材	「リンク数学演習 IA+ⅡB」教研出版 「アップリフト数学 IAⅡB」Z会 「アップリフト数学Ⅲ」Z会 「共通テスト対策問題集プレノート数学 IAⅡB」教研出版、プリント教材						

学習目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。また、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	難度自己評価 A B C
1 学 期	第6章 積分法	・様々な関数の積分計算ができ、様々な图形の面積や体積を求めることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	題1章 複素数平面	・基本的な複素数平面の性質がわかり、平面图形の考察に応用できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	数学 IAⅡBⅢの演習	・基本的な問題から発展的な問題まで、類題をもとに解法を考え出すことができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学 期	数学 IAⅡBⅢの演習	・発展的な問題に対して、類題をもとに解法を考え出すことができる。 ・様々な視点から問題を捉え、解答を行うことができる。 ・様々な問題に積極的に取り組む意欲がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学 期	数学 IAⅡBのマーク演習 2次対策問題演習	・試験時間内に、速く正確な読解及び判断、計算等ができる。 ・分野横断的な視点から問題を捉え、解答することができる。 ・様々な問題に積極的に取り組む意欲がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

学習方法	予習を前提とした授業を行う。予習では教科書や参考書等の例や例題をもとに、練習問題に取り組む。発展的な内容の問題にも対応できるよう、一問一問解答をすぐに見ることなくじっくり考え、思考力を鍛えるために取り組む。
------	---

評価方法	考查評価8割、平常評価2割で総合的に評価し、最終的に100点法の評点、および5段階で評価する。平常評価は課題提出、授業への取り組み等で行う。
------	--

## 令和5年度（2023年度）八代高等学校シラバス

教科	理科	科目	物理	学年	3	類型	理系
単位数	4	教科書	総合物理1・2（啓林館）				
副教材	リードα物理基礎・物理（数研出版）、物理研究ノート（博洋社）、図録（数研出版）						

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>物理的な事物・現象に関する観察・実験などを通して、探究する能力や態度を高める</li> <li>日常生活との関わりについて考察し、自然に対する見方や考え方を培い、論理的思考力や課題解決能力を養う</li> </ul>
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学期	<p>[総合物理1] 第3部 波 ○光</p> <p>[総合物理2] 第1部 電気と磁気 ○電界と電位 ○電流</p>	<p>◎光の性質やレンズ・鏡、光の干渉について学び、生活との関連や、光の利用について理解する</p> <p>◎電場・電位の概念やコンデンサーについて理解する</p> <p>◎電流のはたらきに関する定量的な処理や、電流と生活との関連、利用方法について理解する</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学期	<p>○電流と磁界</p> <p>○電磁誘導と電磁波</p> <p>第2部 原子・分子 ○電子と光</p> <p>○原子・原子核・素粒子</p>	<p>◎電流と磁場の関係性や諸法則を理解するとともに生活との関連を知る</p> <p>◎電磁誘導や交流、電磁波について定量的な処理や、生活との関連、利用方法について理解する</p> <p>◎電子に関する内容や、電子・光が粒子性と波動性の両方の性質を持つ二重性について理解する</p> <p>◎原子の構造や、原子核反応、放射線等について理解する</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学期	問題演習	◎共通テストや記述試験に向けて、様々な問題に意欲的に取り組み、柔軟な考察・正確な計算処理を行う	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

学習方法	物理的な事物・現象に対する概念や法則を、図やグラフを書くことで、具体的なイメージを持って理解し、疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。また、知識・理解を深めるために毎時間の復習を徹底し、演習問題に積極的に取り組み、考える努力をすること。理解をする上で計算力は必須なので、複雑な計算も必ず自分の手で行うこと。
------	---

評価方法	考查評価7～8割（定期考查・課題考查）、平常点評価3～2割（課題、提出物、授業態度等）で総合的に評価し、100点満点で評点を算出するとともに5段階で評定を決定する。
------	--

令和5年度（2023年度）八代高等学校シラバス

教科	理科	科目	化学	学年	3	類型	理系
単位数	4	教科書	改訂版 化学（教研出版）				
副教材		ニュースステップアップ化学基礎（東京書籍）、ニュースステップアップ化学（東京書籍） サイエンスビュー化学総合資料（実教出版）					

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な知識の定着の定着を図る。</li> <li>・化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、自然を科学的に観ることができる。</li> </ul>
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学期	第3編 無機物質 第1章 非金属元素 第2章 金属元素（I） 第3章 金属元素（II） 第4編 有機化合物 第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種元素の単体と化合物の性質と関連性を理解する。</li> <li>・有機化合物の概念を形成する。</li> <li>・官能基と物質の性質と反応性を理解する。</li> <li>・結合による水の溶解度の違いを理解する。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学期	第4章 芳香族化合物 第5編 高分子化合物 第1章 高分子化合物の性質 第2章 天然高分子化合物 第3章 合成高分子化合物 問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機化合物の概念を形成する。</li> <li>・官能基と物質の性質と反応性を理解する。</li> <li>・結合による水の溶解度の違いを理解する。</li> <li>・糖類の結合と性質を理解する。</li> <li>・アミノ酸の結合と性質を理解する。</li> <li>・日常生活で用いられる合成高分子化合物の構造と性質を理解する。</li> <li>・学んだ知識を活かして問題を解くことができる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学期	問題演習	・学んだ知識を活かして問題を解くことができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

学習方法	教科書を中心としたプリント学習をします。予習、復習は必ず行って下さい。 問題演習では、プリントと問題集を適宜利用します。
------	---

評価方法	考查評価 7～8割（定期考查・課題考查）、平常点評価 3～2割（課題、提出物、小テスト、授業態度等）で総合的に評価し、100点満点で評点を算出するとともに5段階で評定を決定する。
------	---

## 令和4年度 八代高等学校シラバス

教科	理科	科目	生物	学年	3	類型	文系
単位数	2	教科書	数研出版 「改訂版 生物」				
副教材	浜島書店ニューステージ 生物図表、数研出版リード Light ノート生物、第一学習社セミナー生物基礎						

学習目標	1 「生物基礎」との関連を図りながら、生物や生物現象をさらに広範囲に取り扱い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けさせる。
	2 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、科学的な自然観を育てる。
	3 授業を通して自然を科学的に探究する能力を育てる。
	4 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価		
			A	B	C
1 学 期	第5章 動物の反応と行動	・動物における情報を処理して正確ですばやい反応を引き起こすしくみ、行動が起こるしくみを理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	第6章 植物の環境応答	・植物の環境応答とそのしくみについて理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2 学 期	生物の総復習	・「生物基礎」との関連を図りながら、総合的に生物を振り返る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	共通テスト対策演習	・演習問題にあたる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学 期	共通テスト対策演習	・演習問題にあたる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

学習方法	①さまざまな用語を他者に説明できる。②生命現象のしくみを文章で説明できる。この2つを到達目標として授業に臨み、家庭学習に取り組む。
------	---

評価方法	①定期考查（課題考查も含む）を8割、②課題、授業中の取り組みを2割として、総合的に判断し、学期ごとに100点満点で算出する。
------	--

令和5年度 八代高等学校シラバス

教科	理科	科目	生物	学年	3	類型	理系
単位数	4	教科書	教研出版 「改訂版 生物」				
副教材	浜島書店ニューステージ 生物図表、教研出版リード α生物 第一学習社ピーライン生物						

学習目標	生物に関わるさまざまな現象について理解するとともに、科学的なものの見方や考え方を身につける。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学 期	第4章 生殖と発生 (4.動物の配偶子形成と受精から)	・新口動物の初期発生の過程を理解する。 ・動物の形態形成のしくみを遺伝子の発現調節の観点から理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第5章 動物の反応と行動	・動物における情報を処理して正確ですばやい反応を引き起こすしくみ、行動が起こるしくみを理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第6章 植物の環境応答	・植物の環境応答とそのしくみについて理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学 期	第8章 生命の起源と進化	・生物の出現以降の変遷を理解する。 ・進化のしくみについて考察する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第9章 生物の系統	・さまざまな生物の特徴と系統関係を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	共通テスト対策演習	・問題演習にあたる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学 期	個別試験対策演習	・問題演習にあたる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※第7章は2年次に学習済

学習方法	①さまざまな用語を他者に説明できる。②生命現象のしくみを文章で説明できる。この2つを到達目標として授業に臨み、家庭学習に取り組む。
------	---

評価方法	①定期考査（課題考査も含む）を8割、②課題、授業中の取り組みを2割として、総合的に判断し、学期ごとに100点満点で算出する。
------	--

令和5年度 八代高等学校シラバス

教科	地学	科目	地学基礎	学年	3	類型	文系
単位数	2	教科書	啓林館 地学基礎改訂版				
副教材	スクエア最新図説地学九訂版・地学基礎研究ノート・チェックアンド演習地学基礎						

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、地学的に探究する能力と態度を育て、科学的な見方や考え方を養う。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	難度自己評価 A B C
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大気と海洋           <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球の熱収支</li> <li>・大気と海水の運動</li> </ul> </li> <li>○地球の環境</li> <li>○変動する地球に関する探究活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気の構造と地球全体の熱収支について理解できる。</li> <li>・大気の大循環と海水の運動及びそれによる地球規模の熱の輸送について理解できる。</li> <li>・地球環境の変化を科学的に考えることができる。</li> <li>・日本の自然環境を理解し、その恩恵や災害など自然環境と人間生活とのかかわりについて理解する。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 宇宙における地球</li> <li>○宇宙の構成           <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙のすがた</li> <li>・太陽と恒星</li> </ul> </li> <li>○惑星としての地球           <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽系の中の地球</li> </ul> </li> <li>○宇宙における地球に関する探究活動</li> <li>○問題演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙の誕生と銀河の分布について理解する。</li> <li>・太陽の表面の現象と太陽のエネルギー源及び恒星としての太陽の進化を理解する。</li> <li>・太陽系の誕生と生命を生み出す条件を備えた地球の特徴を理解する。</li> <li>・宇宙における地球に関する探究活動の方法を理解する。</li> <li>・これまでに学んだ知識を用いて問題を解くことができる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学 期	○問題演習	・これまでに学んだ知識を用いて問題を解くことができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

学習方法	教科書を中心に授業を進めていきます。最低限、教科書の太字について説明できるような学習を行ってください。
------	---

評価方法	考查評価 7～9割（定期考查・課題考查）、平常点評価 3～1割（課題、提出物、授業態度等）で総合的に評価し、100点満点で評点を算出するとともに5段階で評定を決定する。
------	--

令和5年度(2023年度)八代高等学校シラバス

教科	保健体育	科目	体育
学年・類型	3学年・全クラス	単位数	2
教科書	最新高等保健体育改訂版		
副教材			
科目目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて他力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。		
学習方法	第一体育館・第二体育館・グラウンド・25mプールなどの体育施設を活用し、多種多様の実技を行う。自己の課題(体力面・技能面・精神面)を改善・向上に向け取り組み、個人学習カードを活用して活動の見直しや振り返りを行う。		

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けている。

評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①運動技能テスト・記録測定 ②発表会の内容 ③授業への取組状況	①グループノートや個人学習カードの内容 ②発表会の活動状況 ③授業への取組状況	①授業への取組状況 ②グループノートや個人学習カードの提出状況

各学期及び学年の成績算出方法について		
観点別評価		
知識・技能	40%	
思考・判断・表現	30%	
主体的に学習に取り組む態度	30%	

学 期	学習内容	評価規準（到達目標B規準）と到達度チェック（自己評価）				評価方法
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
1 学 期	体つくり運動 体力を高める運動 ラジオ体操第2 スポーツテスト	<input type="checkbox"/> 体力を高める運動の仕方に理解し、実践できる。 <input type="checkbox"/> ラジオ体操第2について効果を理解し、正しく、力強く行うことができる。	<input type="checkbox"/> 自己の体力課題をみつけ、体力向上に向け継続的に取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> 仲間と教え合いながらラジオ体操第2を覚え、自己の体を正しく動かすことができる。	<input type="checkbox"/> 仲間と協力して運動に対して積極的に取り組んでいる。授業に参加している。	知① 知③ 思① 思③ 主① 主②	
	選択球技Ⅰ バスケット・バレー バドミントン・卓球・ サッカー・ソフトボール	<input type="checkbox"/> 各種目の運動に関連した名称や運動の特性やルールに向けた実践が解し、体力向上に向けた実践ができる。	<input type="checkbox"/> 運動の行い方や攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	<input type="checkbox"/> 協力して準備や片付けをする。球技の学習に自主的に取り組もうとしている。		
	体育理論 豊かなスポーツライフの設計	各ライフステージに応じたスポーツの多様な楽しみ方や、ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方を見付けることができる。	スポーツとの関わり方にについて、自己や自己を取り巻く環境の変化を予想し、自己や社会についての課題を発見している。	豊かなスポーツライフの設計の仕方にについての学習に、主体的に取り組もうとしている。	知③ 思③ 主①	
	選択球技Ⅱ バスケット・バレー バドミントン・卓球 サッカー・ソフトボール	各種目の運動に関連した名称や運動の特性やルールについて理解し、体力向上に向け実践できる。	運動の行い方や攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	<input type="checkbox"/> 協力して準備や片付けをする。球技の学習に自主的に取り組もうとしている。		
	体育理論 豊かなスポーツライフの設計	スポーツの推進を図る施策や条件整備が進められていること、スポーツを行う適切な関わり方が求められていることについて理解している。	将来の豊かなスポーツライフの実現に向けた課題のよりよい解決に向けて、自己の考えを言葉や文章などを通して他者に筋道を立て伝えていく。	豊かなスポーツライフの設計の仕方にについての学習に、主体的に取り組もうとしている。	知① 知③ 思① 思③ 主① 主②	
	選択球技Ⅲ バスケット・バレー バドミントン・卓球 サッカー・ソフトボール	各種目の運動に関連した名称や運動の特性やルールについて理解し、体力向上に向けた実践ができる。	運動の行い方や攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	<input type="checkbox"/> 協力して準備や片付けをする。球技の学習に自主的に取り組もうとしている。		
2 学 期						
学 期						

令和5年度 八代高等学校シラバス

教科	英語	科目	英語表現Ⅱ	学年	3	類型	文／理
単位数	3 / 2	教科書	English Expression II be (IIZUNA SHOTEN)				
副教材	Steady Steps to Writing Write to the Point (教研出版)						

学習目標	2年次に学習した基本的な例文や構文知識をもとに、根拠に基づいた意見の主張や、完成度の高い英文表現ができるようになることを目指す。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学 期	第1・2文型／第5文型／無生物主語／It 構文／不定詞／動名詞／受動態／時制／助動詞／条件文と仮定法／名詞節／関係詞節	それぞれの文法項目の形式の理解。 それぞれの文法項目の意味の理解。 それぞれの文法項目の機能の理解。 基本的な表現の活用。 発展的な表現の理解。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学 期	名詞修飾表現／時間や数の表現／否定／比較／付帯状況／接続詞／強調・倒置・挿入／頻出構文	それぞれの文法項目の形式の理解。 それぞれの文法項目の意味の理解 それぞれの文法項目の機能の理解。 基本的な表現の活用。 発展的な表現の理解。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学 期	・個別試験対策	各大学の英訳問題に対応できる英作文力をつける。 自由英作文では自分の主張、考えを的確な英文で表現できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

学習方法	該当レッスンの演習問題に各生徒が予習で取り組む。 予習した内容をベースにして授業で解説し、理解を深める。 即興的な自己表現も授業中に行う。
------	---

評価方法	定期考査を7～8割、小テスト、予習・提出物の状況、・エッセイライティング（自由英作文）等を3～2割とし、総合的に評価する。
------	---

令和5年度 八代高等学校シラバス

教科	英語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	学年	3	類型	
単位数	4	教科書	ELEMENTⅢ(啓林館)				
副教材	Cutting Edge Blue / Orange (EMILE 出版)						

学習目標	基本的語彙力、読解力を高めるために、粘り強く英文を読み解く姿勢を涵養する。教科書に即したワークシートを活用して記述力を高める。問題集に移行後は、様々なタイプの問題に対応する答案作成力を養成する。大学入試に出題される様々なジャンルの英文を読み解き、スキーマの充実を図る。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	難度自己評価		
			A	B	C
1 学 期	①ELEMENT より L2 Language Extinction L5 A Class from Stanford Univ. L9 Praying Hands ②Cutting Edge より 科学・社会・環境・教育・文化等の分野の英文	・レッスン中の語彙・表現の理解。 ・重要構文を含む文の理解。 ・本文のアウトラインの理解。 ・段落やパートごとの要点の理解。 ・本文に関する質問に必要十分な情報を盛り込んで解答できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学 期	Cutting Edge より 科学・社会・環境・教育・文化等の分野の英文	・レッスン中の語彙・表現の理解。 ・重要構文を含む文の理解。 ・本文のアウトラインの理解。 ・段落やパートごとの要点の理解。 ・本文に関する質問に必要十分な情報を盛り込んで解答できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学 期	共通試験対策 個別試験対策	・時間内にすべての問題を解きあげる速読力と情報検索力につける。 ・各大学の様々な問題に解答できる記述力をつける。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

学習方法	・該当レッスンの読解ワークシートに各生徒が自分の力で予習に取り組む。 ・予習した内容をベースにして授業で内容理解を深める。 ・自分の考えを英語で表現しあう活動を授業中に行う。
------	---

評価方法	定期考査を7~8割、小テスト、予習・提出物の状況、スピーキングテスト等を3~2割とし、総合的に評価する。
------	--

2023 英語授業シラバス(3学年) 予定は変更される場合もあります。

1学期		夏休み			2学期			冬休み		3学期							
		4月	5月	6月	7月	7/16~	8月	~8/21	9月	10月	11月	12月	12/24 ~ 1/10	1月	2月	3月	
先生を通じて POCIO +AIクル を勉強す る	講義考査 ・進研記述授試 ・ハイレベル検試 ・中間考査 ・第1回英検一次	講義考査 ・進研記述授試 ・ハイレベル検試 ・中間考査 ・第1回英検一次	講義考査 ・進研記述授試 ・ハイレベル検試 ・中間考査 ・GTECチャレ	・進研記述授試 ・全統マーク検 ・校内実力考査 ・GTECチャレ	・進研記述授試 ・全統マーク検 ・期末考査	・進研記述授試 ・第2回英検二次	・進研記述授試 ・第2回英検二次	・期末考査	・進研記述授試 ・第3回英検一次	・期末考査	・フレテスト①	・フレテスト②	・フレテスト③ ○大学入試共通 試験 ・第3回英検一次	・第3回英検二次 ・第26回定期試験 ・国公立前期試験 ・国公立後期試験	・第3回英検二次 ・第26回定期試験 ・国公立前期試験 ・国公立後期試験		
CE III	【ELEMENT English Communication 3】 Lessonを選択実施 (3lesson予定) (中間考査ままで)	【ELEMENT English Communication 3】 Lessonを選択実施 (3lesson予定) (中間考査ままで)	【Cutting Edge Blue】 1.5時間配当／1lesson (中間考査後)	【Cutting Edge Blue】 終了後： 【Cutting Edge Orange】 (Lesson抜粋) 1.5時間配当／1lesson													
Ee II	文理共通2単位： 『Steady Steps to Writing』 (2年次からの継続使用)	文理共通2単位： 『FINAL DRAFT』 ※Step1.2 → Step3の順で	文理共通2単位： 『FINAL DRAFT』 ※Step1.2.3の順で Training3, On-the-Job Training	文系1単位： 1.グラフ和訳演習 ※小テスト…Engage リスニング演習 【CLOSE-UPリスニング】													
課外	週末課題 適1	総合問題集や詳解の補強問題等を随時入れる。(6月高校総体まで)	総合問題集や詳解の補強問題等を随時入れる。(6月高校総体まで)	総合問題集や詳解の補強問題等を随時入れる。(6月高校総体まで)	総合問題集や詳解の補強問題等を随時入れる。(6月高校総体まで)	総合問題集や詳解の補強問題等を随時入れる。(6月高校総体まで)	総合問題集や詳解の補強問題等を随時入れる。(6月高校総体まで)	総合問題集や詳解の補強問題等を随時入れる。(6月高校総体まで)	総合問題集や詳解の補強問題等を随時入れる。(6月高校総体まで)	総合問題集や詳解の補強問題等を随時入れる。(6月高校総体まで)	総合問題集や詳解の補強問題等を随時入れる。(6月高校総体まで)	総合問題集や詳解の補強問題等を随時入れる。(6月高校総体まで)	総合問題集や詳解の補強問題等を随時入れる。(6月高校総体まで)	総合問題集や詳解の補強問題等を随時入れる。(6月高校総体まで)	総合問題集や詳解の補強問題等を随時入れる。(6月高校総体まで)	総合問題集や詳解の補強問題等を随時入れる。(6月高校総体まで)	
志望校	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第2志望	第4志望											
学習プラン	3月～春休み	4月	5月	6月	7月	7/19～	8月	~8/27	9月	10月	11月	12月	1月	18日間	1月	2月	3月